

小木の子 われら

校 区 内
全 戸 回 覧

令和2年10月20日発行

比較することで見方・考え方を鍛える

校 長 齋 藤 光 夫

10月8、9日、6年生は会津若松市への修学旅行に行ってきました。

コロナ禍の中、県外に行く必要はあるのか、というご意見もありましたが、安心・安全な旅行となるよう最善を尽くしての実施に努めたことをご理解ください。

唐突ですが、小学校3年生から始まる教科「理科」では、自然の事象に対する見方・考え方を働かせる視点として「比較する」ことを大切にしています。

3年生は、身の周りのものがどのような材質（紙、木、金属、プラスチックなど）なのかは分かっても、科学的な見方・考え方で比較する経験はありません。そこで、磁石を使ってみたり、電気を通してみたりしながら比較し、ものの特徴や相違点を捉えていきます。

このような「比較する力」は、生活を向上させる上でも重要な力となります。

私たちは、ものの善し悪しや改善点を考えるとき、既存の知識や経験を基に差異点や共通点を探り出し、より確かな答えを出すための参考にします。比較できるものごとが多いほど、判断力は高まり、自分の見方・考え方は鍛えられていくと言えます。

普段生活しているこの小木の地域のよさや課題を考えると、この地域以外の様子を知っている場合と知らない場合とでは、当然、見方・考え方に違いがでます。

小木の町並みを残そうという活動をご存じでしょうか。普段何気なく歩いている小木の町には、歴史を物語る風情がたくさん残っており、建築物にも特徴が見られるとのことです。しかし、この町並みの特色に気付くには、他地区との違いを理解する必要があります。

もっと広い視点として、観光地としての「佐渡」を考えたとき、これからの社会を担う子どもたちに「佐渡を見つめる力」を高めておくことが大切です。

なぜ県外なのか。それは、観光名所「小木」を知る子どもたちにとって、佐渡について学んできた小学校生活、その最後となる今年こそ、隣県の観光地を訪れ、体感してくる意義は大きく、他に代えがたいものがあると考えています。

ご家族のご理解とご協力があった旅行でした。どうか、地域の皆様におかれましても、これまで同様、温かく子どもたちの成長を応援していただけますよう、お願いいたします。